

ニュース：日刊工業新聞の産業ネットワーク特集に GRP 掲載

2026 年 1 月 5 日、日刊工業新聞は産業ネットワーク組織「東京産業人クラブ」を特集し、その女性部会において、女性が経営する企業を紹介するセクションに、グローバルレギュラトリーパートナーズ（GRP）と代表のスーザン・デイビスが掲載されました。

PDF ファイルには以下が含まれます：日刊工業新聞の題字、特集記事、および GRP とスーザン・デイビスの掲載部分。

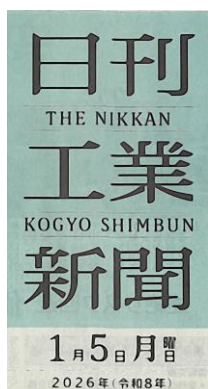
PDF ファイルはこちらをクリックしてください。

グローバルレギュラトリーパートナーズについて

グローバルレギュラトリーパートナーズ（GRP）は、日本市場への進出を目指す製薬、バイオテクノロジー、医療機器企業に対し、薬事規制対応、臨床開発、コンプライアンス、市場アクセス支援などの包括的なソリューションを提供しています。

GRP は日本国内で製造販売業者（MAH）として機能することにより、パートナー企業のより迅速な日本市場参入を可能にし、日本の患者様が必要とする革新的な医療製品への早期アクセスに貢献しています。


グローバルレギュラトリーパートナーズおよび日本におけるサービスの詳細については、<https://globalregulatorypartners.co.jp/> をご覧ください。



日刊工業新聞



東京産業人クラブ女性部会に掲載された GRP とスーザン・デイビス代表



二〇二六年新年

産業人クラブは各地域の中堅・中小企業経営者が交流を深め、産業の発展に寄与することを目的とした興業種交流組織で、日刊工業新聞社の支社・総局・支局が事務局を務めている。東京産業人クラブや大阪産業人クラブ、名古屋産業人クラブなど全国27組織（支部・部会を含む）で構成され、約1700人の会員がいる。製造業の経営者を中心に金融機関や自治体、大学など多種多様な業種が集まり、産学官金の交流によって参加者は経営の諸課題に対する解決のヒントを得ている。埼玉産業人クラブのように、理工系大学との連携に重点をおいた産学交流会を、別組織の支部として傘下に置いて運営するクラブもある。

各クラブの主な活動は、先進的な研究機関や工場などの見学会、産業界の一端で活躍する経営者や著名人による講演会、経営の諸課題に対応したテーマごとの経営研究会のほか、経営者同士の交流を深めるためのゴルフ大会などさまざまな取り組みを行っている。今年は1月8日の新開成切りに、1月22日の東京など各地で3月まで新春講演会や賀詞交歓会が行われる。

日本産業人クラブ連合会（神坂拓也 会長）日刊工業新聞社社長）は各地域のクラブに横ぐしを通ずる全国組織として活動しており、これまで新潟と千葉で全国大会が行われた。千葉大会ではキッコーマンやオリエンタルランドなど千葉から世界に羽ばたいた企業の講演のほか、ピッチイベントや商談会、懇親会が行われ、全国から290人が集まった。地域を超えた会員同士のビジネスマッチングが行われ、リアルな交流によって新たなビジネスチャンスも生まれている。

東京産業人クラブによる記事